



促成キュウリの病害虫防除対策について

菌核病や灰色かび病、退緑黄化病、コナジラミ類など

促成栽培のキュウリでは、今後果実に発生する菌核病や灰色かび病、ウイルスによる退緑黄化病や黄化えそ病などが発生しやすくなります。

退緑黄化病はタバココナジラミが媒介し、黄化えそ病はミナミキイロアザミウマが媒介しますので、これら病害虫の防除に十分な注意が必要となります。

防除対策のポイント

耕種的防除



温度？ 湿度？

写真左：灰色かび病
(果実の病徴)
写真右：退緑黄化病
(葉の退緑黄化症)

茨城県病害虫防除所



- 1) 菌核病や灰色かび病の被害果を見つけたら直ちに摘除し、施設外へ持ち出して腐熟化させるなど適切に処分します(施設内や近くに、そのまま放置すると伝染源となって、胞子が飛散する恐れがあります)。
- 2) 昼近くになっても作物に水滴が残るような場合には、暖房や送風、換気等により、施設内の湿度をできるだけ低く保ってください。
- 3) 菌核病や灰色かび病の対策として、開花が終わっても花落ちが悪い場合には、出来るだけ枯花を取り除きます。

化学的防除

- 1) 薬剤散布は、夕方までにキュウリの表面の薬液が乾くような時間帯に行ってください。
- 2) 湿度の高い施設では、防除薬剤に「くん煙剤」などを活用します。
- 3) 薬剤耐性菌や抵抗性の発生を抑制するため、同一分類(コード)の連続散布は避けてローテーション散布します。



表1 キュウリ菌核病、灰色かび病の主な防除薬剤

(令和7年2月6日現在)

薬 剤 名	対 象 病 害		希釈倍率または使用方法	使用時期 / 使用回数	分類
	菌核病	灰色かび病			
ゲッター水和剤	○	○	1,500 倍	収穫前日まで / 5 回以内	1 と 10
スミレックス水和剤	○	○	1,000~2,000 倍	収穫前日まで / 6 回以内	2
セイビアフロアブル20	○	○	1,000~1,500 倍	収穫前日まで / 3 回以内	12
ダコニール1000		○	1,000 倍	収穫前日まで / 12 回以内	M05
パレード20フロアブル	○	○	2,000~4,000 倍	収穫前日まで / 3 回以内	7
ファンタジスタ顆粒水和剤	○	○	2,000~3,000 倍	収穫前日まで / 3 回以内	11
フルピカフロアブル		○	2,000~3,000 倍	収穫前日まで / 4 回以内	9
フルピカくん煙剤		○	くん煙室容積 500 m ³ 当たり 50 g		
ベルコートフロアブル	○	○	2,000 倍	収穫前日まで / 7 回以内	M07
ミギワ10フロアブル	○	○	1,000 倍	収穫前日まで / 3 回以内	52
ロブラールくん煙剤	○	○	くん煙室容積 300~400 m ³ 当たり 100g	収穫前日まで / 4 回以内	2

注) 表1および表2の分類欄には、FRAC または IRAC コードを記載しました(コードが2つは混合剤)。同一分類(コード)は作用点が同じなので、連用は避けてください。

表2 キュウリ コナジラミ類、アザミウマ類、アブラムシ類、ハダニ類の主な防除薬剤

(令和7年2月6日現在)

薬 剤 名	対 象 害 虫				希釈倍率	使用時期 / 使用回数	分類
	コナジラミ類	アザミウマ類	アブラムシ類	ハダニ類			
グレーシア乳剤	○	○		○	2,000 倍	収穫前日まで / 2 回以内	30
コロマイト乳剤	○			○	1,000~1,500 倍	収穫前日まで / 2 回以内	6
サンマイトフロアブル	○		○	○	1,000~1,500 倍	収穫前日まで / 2 回以内	21A
ディアナSC	○				2,500 倍	収穫前日まで / 2 回以内	5
		○			2,500~5,000 倍		
トランスフォームフロアブル	○				1,000~2,000 倍	収穫前日まで / 2 回以内	4C
			○		2,000 倍		
ベストガード水溶剤	○	○	○		1,000~2,000 倍	収穫前日まで / 3 回以内	4A
ベネビアOD	○	○	○		2,000 倍	収穫前日まで / 3 回以内	28
モメントフロアブル	○	○	○	○	2,000 倍	収穫前日まで / 3 回以内	23

- 農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。
- 営農 News は J A 全農いばらきホームページでもご覧になれます。